

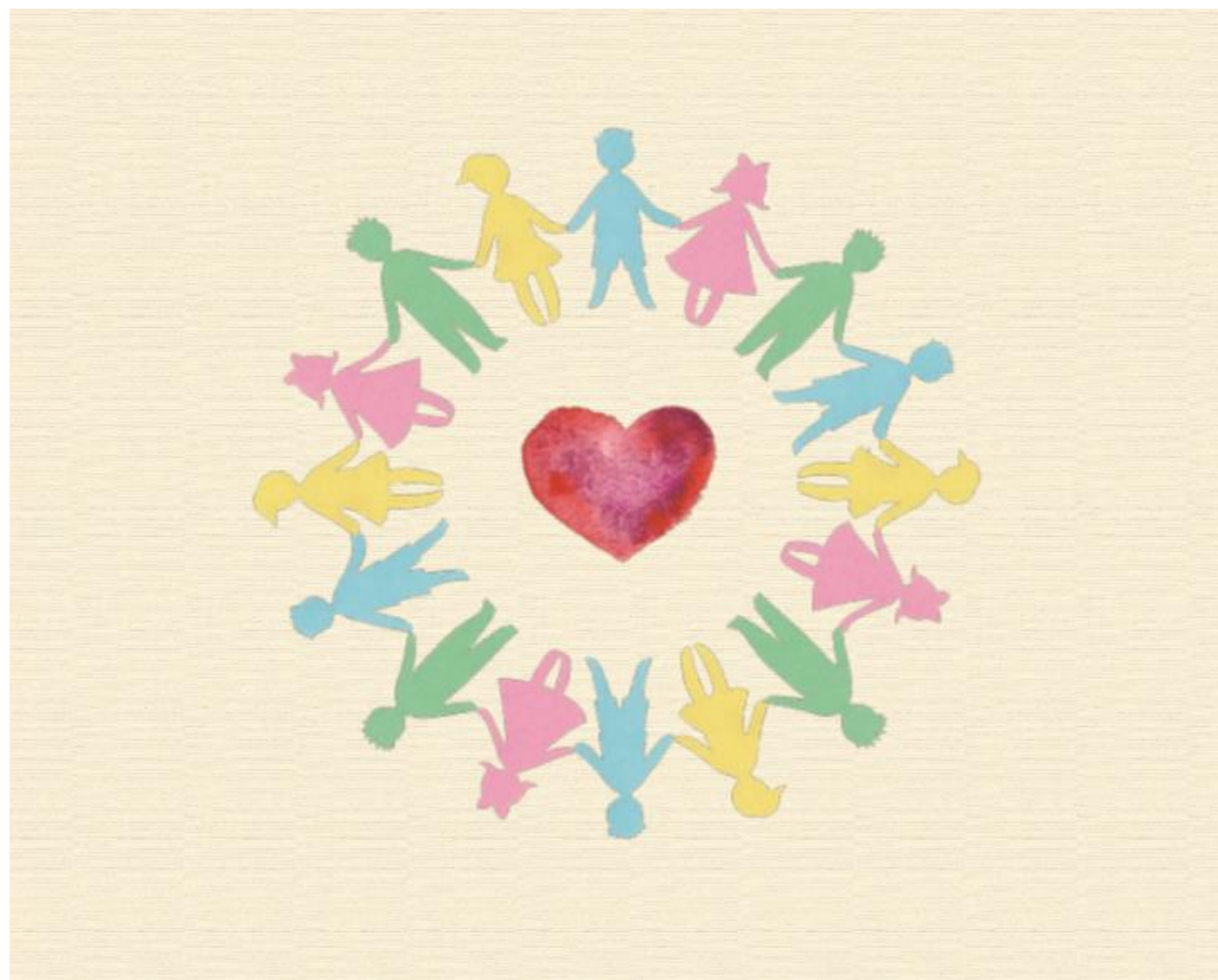
ユニバーサルデザイン授業 実践事例集

増補版

平成27年度

2016.3.1.

岩手大学
教育学部
附属学校



滝沢市立

滝沢第二小学校

奥州市立

岩谷堂小学校

一関市立

萩荘小学校

奥州市立

常盤小学校

岩手県立

紫波総合高等学校

はじめに

岩手大学教育学部附属学校特別支援教育推進専門委員会では、平成25年度に実践事例集を公刊しました。この事例集は、平成22年度から取り組んできた附属学校の通常学級にいる発達障害児に対する教育の実践研究をまとめたものです。

今回、この事例集の増補版を公刊いたしました。これは、附属幼稚園の事例を追加したのみならず、公立学校5校の実践事例を追加したものです。

平成25年度に公刊した事例集は、岩手県のみならず、全国の学校、教育委員会で参考にされております。その中には、優れた実践を実施している学校もあります。今回は、岩手県下で優れた実践を実施している5つの学校に事例を提供していただきました。この5校は、事例を提供していただくとともに、平成27年1月と28年1月に岩手大学教育学部が主催して開催した特別支援教育セミナーでも、実践を発表していただきました。ここに厚くお礼を申し述べます。

平成25年度に公刊した事例集に、今回の増補版を加えたものが、現場の先生方のお役に立ち、特別の支援が必要な子どもたちばかりでなく、すべての子どもたちが分かって楽しい授業を受けられることを願っております。

附属学校特別支援
教育推進専門委員長

我妻則明

(岩手大学教育学部)

①

環境を 整える



生活を
分かり
やすく

附属幼稚園

集合場所が分かる工夫



学級全体で集まって活動
する際、集合する位置をラ
インで示しておくのと、どこに
集まればよいかが分かり、
安心して行動できる。

段階 を 踏まえて 提示

滝沢市立
滝沢第二小学校

学習規律「聞き方・話し方」の段階を踏まえた指導

滝沢第二中学校区 **がくしゅうのやくそく** (1・2年)

き
聞きかた はな
話しかた

はな ひと み
話す人を見て、
さいごまで
き
聞く。

げんきなこえで、
さいごまで
はな
話す。

滝沢村小中連携ジョイントアップスクール事業

滝沢第二中学校区 **学習の約束** (3・4年)

聞き方 **話し方**

話す人を見て、
くらべながら
聞く。

伝わるように、
じゅんじょよく
話す。

滝沢村小中連携ジョイントアップスクール事業

滝沢第二中学校区 **学習の約束** (5・6年)

聞き方 **話し方**

話す人を見て、
感想をもちながら
聞く。

目的に応じて、
整理して
話す。

滝沢村小中連携ジョイントアップスクール事業

滝沢第二中学校区 **学習の約束** (中学校)

聞き方 **話し方**

内容を
考えながら、
注目して
聞く。

聞き手に
伝わるように、
話す。

滝沢村小中連携ジョイントアップスクール事業

中学校区で
連携、一貫
した内容を
提示。

色分け で 意味 づける

全学年、全教科で板書を統一



板書の構造を確認する。

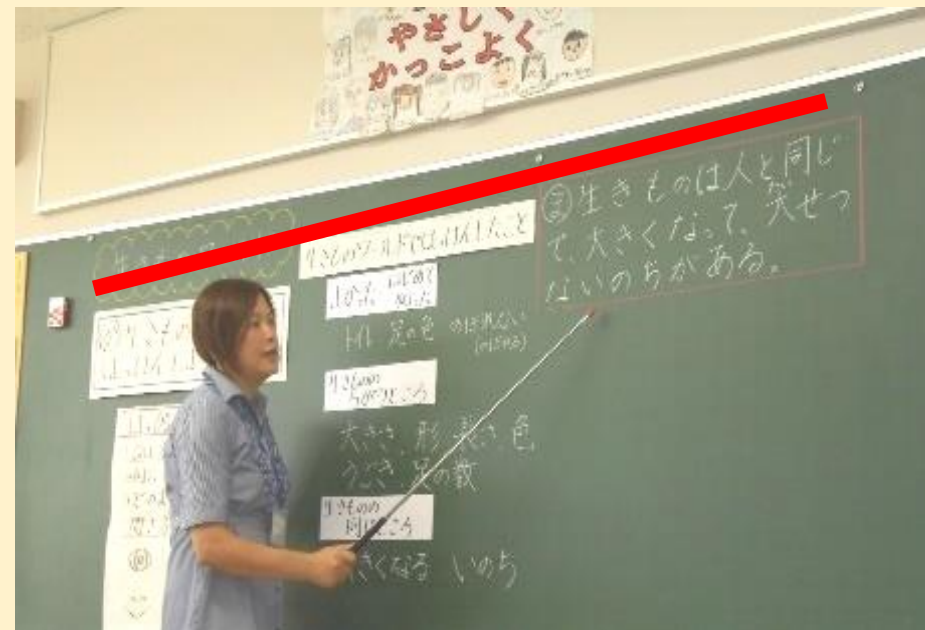
課題は青チョークで囲む。

まとめは赤チョークで囲む。



配置 で 結ぶ

全学年、全教科で板書を統一



授業の始めに示した課題(青枠)と、
授業の終わりに示したまとめ(赤枠)が横
並びになるように配置します。

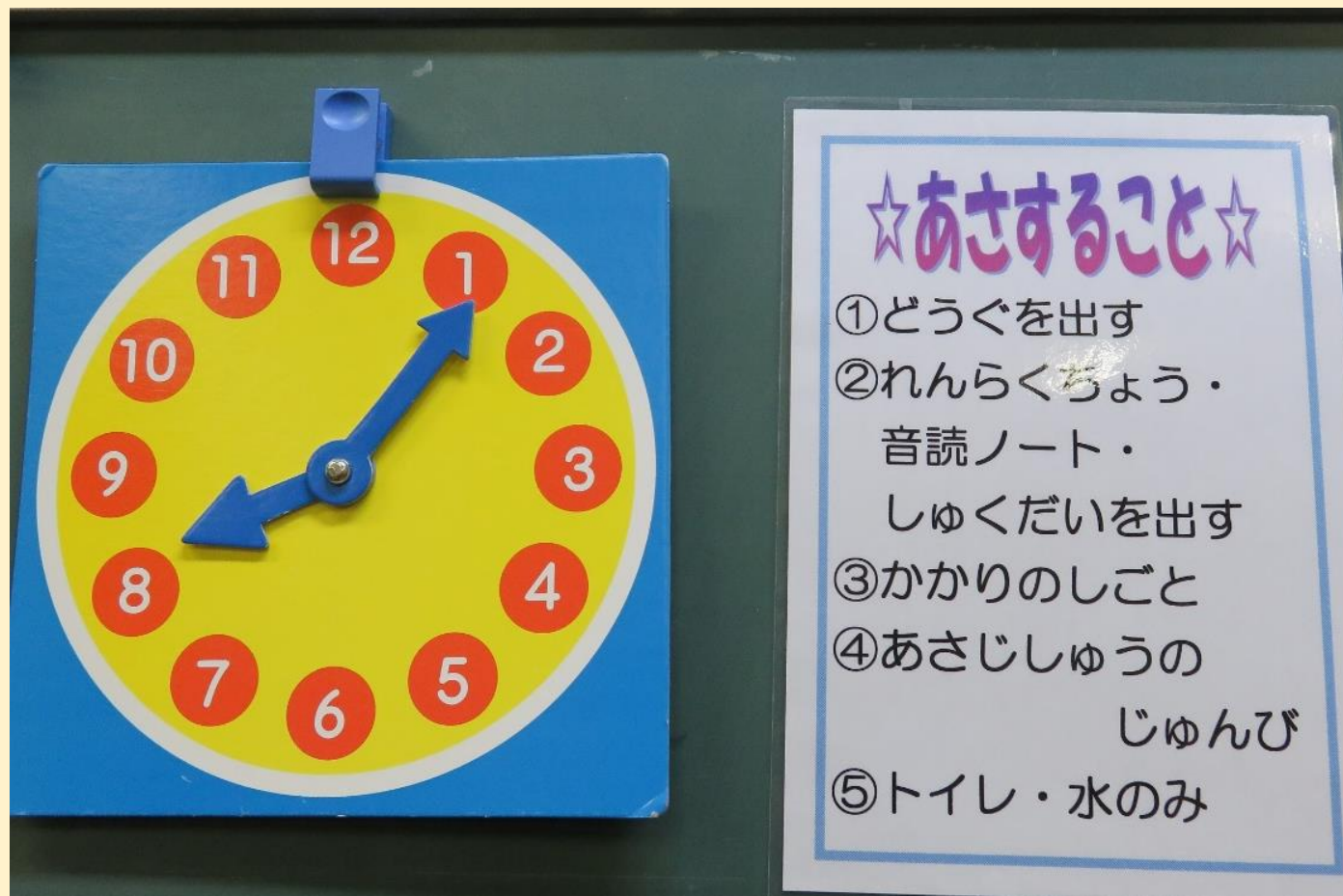
授業の展開と板書を端的に結びつけます。



分かれば
行う。
自分から
動く。

奥州市立
常盤小学校

日課をわかる、みんなでわかり合う



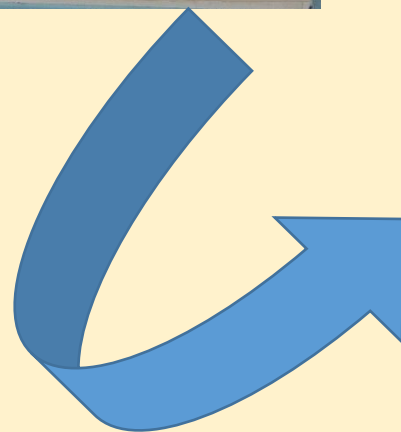
時間の目処と、朝の日課を明示。
自分が分かる。みんなで分かりあう。一人
の習慣は、学級の流れになる。

お互いの
活動が
見える。
あたたか
くなる。

奥州市立
常盤小学校

かかいひょう

まど	ゆき	だい	れんらく	しゅん	
けんこう かんさつ	いくみ	本	さくや	れんらく	ひな
出せき 黒ばん	はな	ハンチリ 名札	たくみ	体育 レク	るい
音楽	らいと	ハンチリ 名札	しょうま	体育 レク	かなと
音楽	かえで	はいたつ	まいか	ひしよ せいとん	かいり
しゅくだい	ゆい	はいたつ	はると	ひしよ せいとん	ふうか
しゅくだい	こころ	はいたつ	さき	くるくる	のぞむ
音読	かのん	はいたつ	あかり	くるくる	ゆう
音読	ふう	黒ばん	い ゆうと	学習	げんき
よてい 黒ばん	はるたか	黒ばん	くらら	学習	ななね
電気 生きもの	す ゆうと	きゆう食	なつ	はいたつ	ゆいか



係活動の実施状況を確認し合う。

かかいひょう

ゆうた	今日	だい	お	しゅん	し
いくみ	日	さくや	し	ひな	た
はな	も	たくみ	ご	るい	も
らいと	学	しょうま	と	かなと	が
かえで	き	まいか	あ	かいり	ん
ゆい	ゅ	はると	り	ふうか	ば
こころ	う	さき	が	のぞむ	ろ
かのん	の	あかり	と	ゆう	う
ふう	た	い ゆうと	う	げんき	ね
はるたか	め	くらら	あ	ななね	😊
す ゆうと	に	なつ	あ	ゆいか	

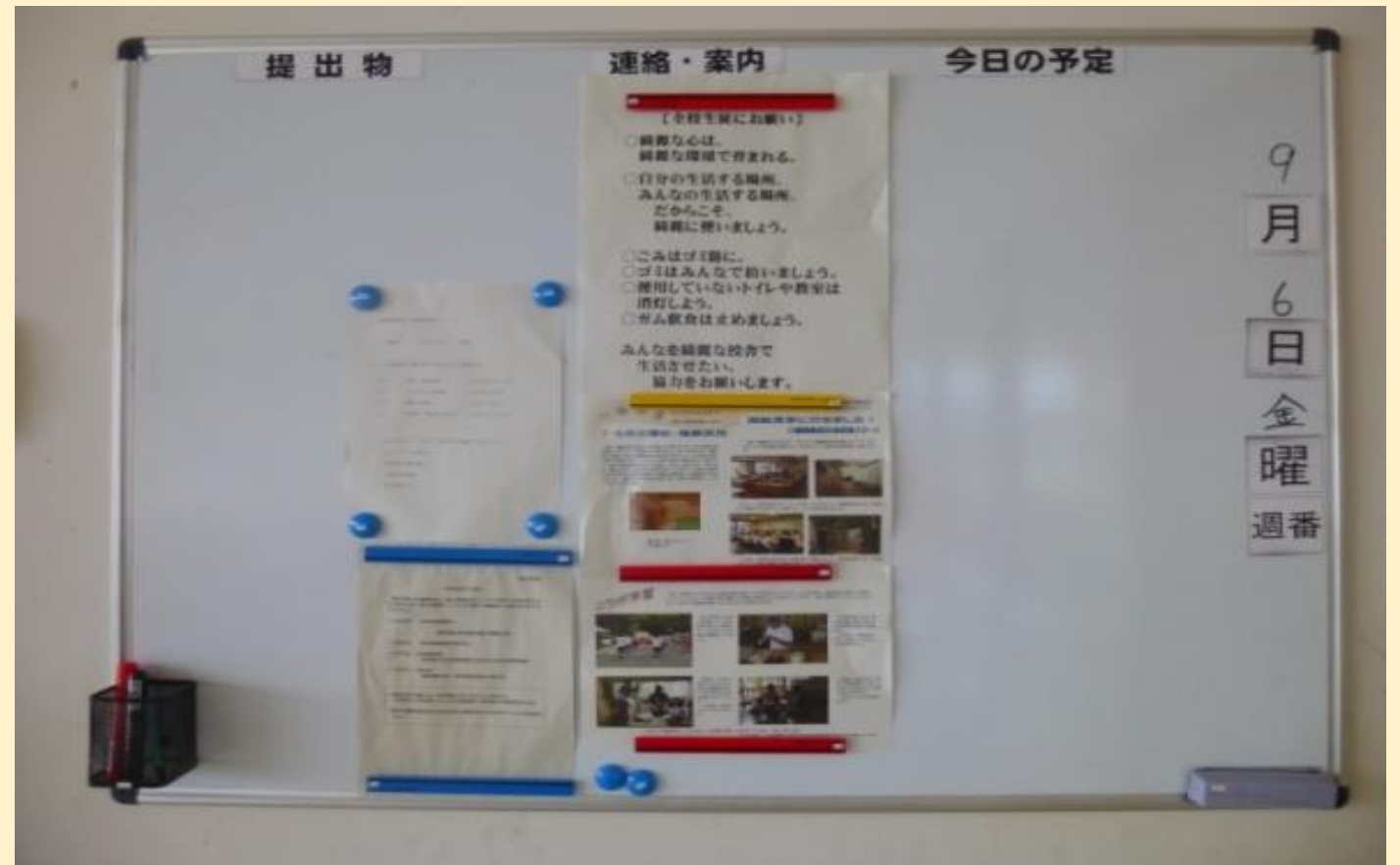
一人一役の割り当て。実施してめくる。
目で見て確認したくなるような仕掛け。

学習環境 と 生活環境 を 整える ①

岩手県立
紫波総合高等学校

黒板を授業専用とするため、
教室の掲示板の利用方法
を全校で統一。

ホワイトボードは、黒板の
そばの壁に配置。
当日及び喫緊の連絡事項
のみを記す。



学習環境 と 生活環境 を 整える ②

岩手県立
紫波総合高等学校

黒板を授業専用とするため、
教室の掲示板の利用方法を
全校で統一。

＜HR教室後ろの掲示板の利用の仕方＞【新】

廊
下

【上部：大きく掲示するもの】学級目標等

【左側：長期間掲示するもの】

- * 各教室に必ず掲示するもの
- * ラミネートをして配布・掲示

時程
整容規定・携帯電話利用規程 等
大講義室座席表
年間行事予定(学校行事カレンダー)
カウンセリングの計画表
掃除区域・当番表
クラス役員

【中央：一定期間掲示するもの】

- * 重要度の高い連絡事項
- 進路に関する情報(3年次)
- 各種検定の案内
- ボランティア募集
- グループエンカウンター

【案内・連絡等】

- * その他の案内
- 系列通信
学年通信
- 他団体の行事のあんない
ちらし

窓



教室の後ろの壁は掲示板を兼ねる。
学級目標や各種連絡内容で長期掲示のものや定例内容を配置。
左側は長期間掲示するもの、中央は、一定期間掲示するもの、右は案内・連絡。
掲示物は必ず四つ角を画びょうで止める。

②

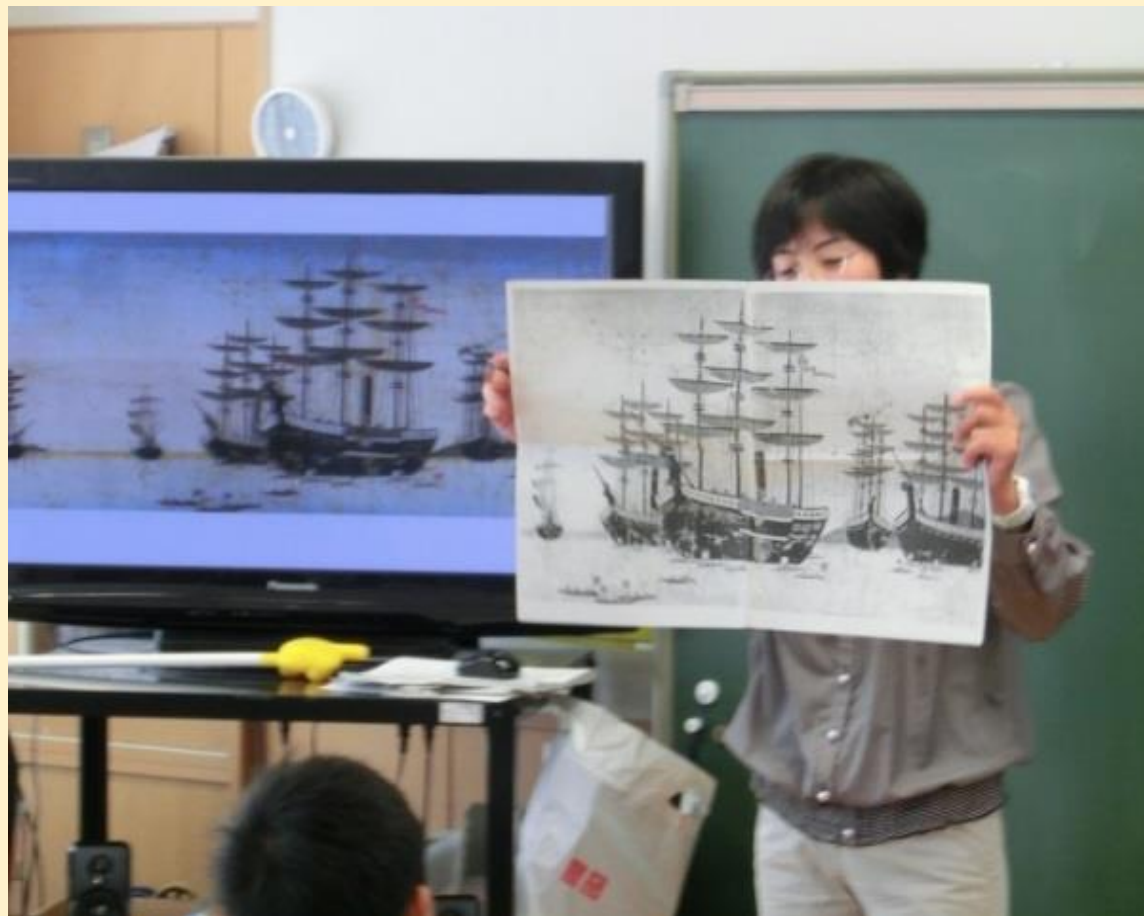
読む力 を 育てる 工夫



視覚 と 聴覚 を 刺激。

一関市立
萩荘小学校

視覚教材と聴覚教材の
組み合わせ

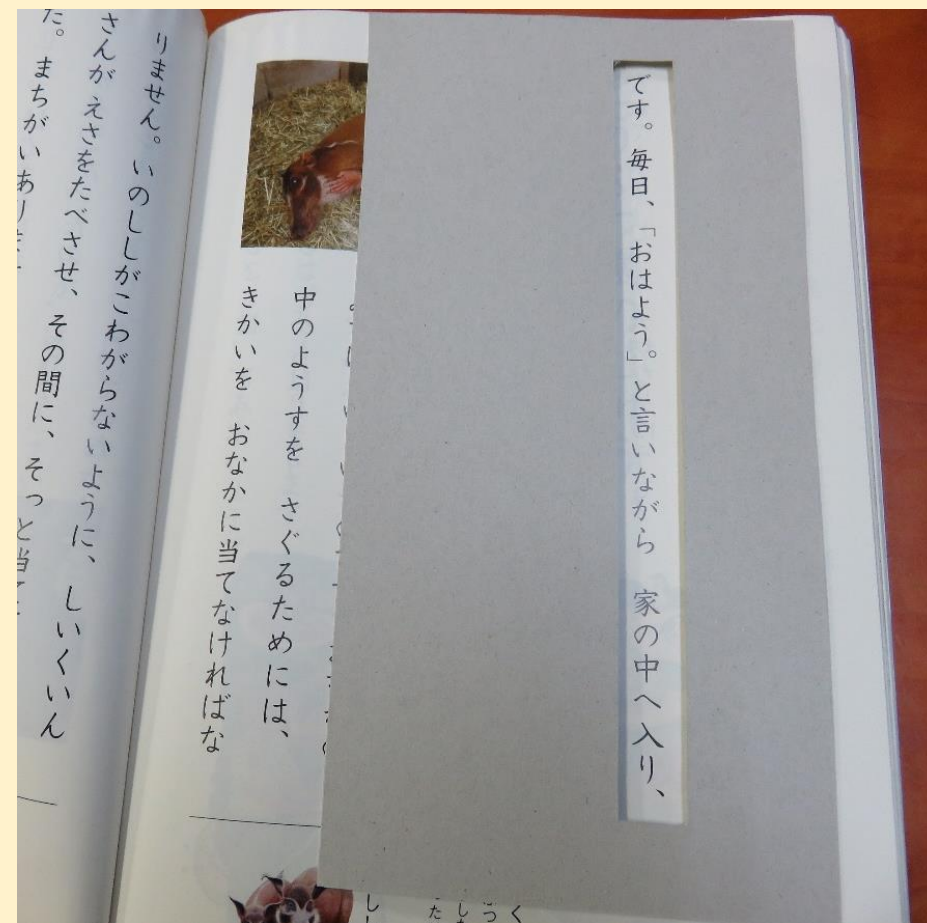
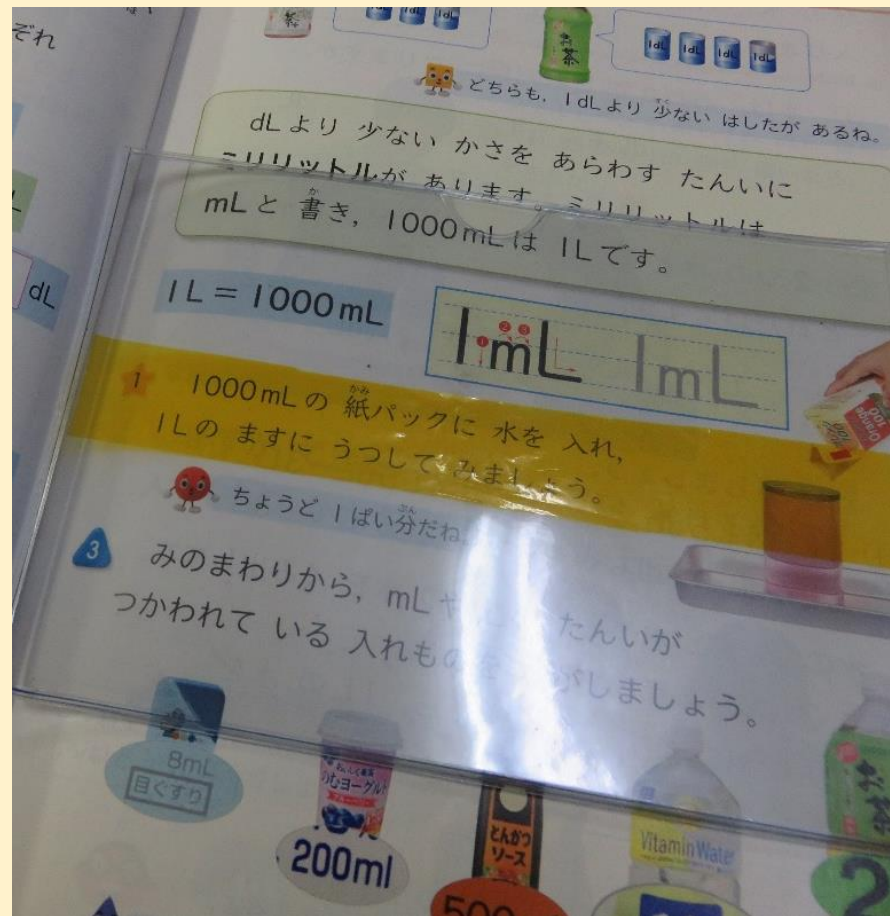


写真で黒船の形を、テレビから黒船の大砲の音を聞かせました。視覚と聴覚を刺激され、臨場感を味わった子どもたちは、当時の人々の気持ちになって資料の読み取りに集中しました。

今、こ
と
分かれ
読める。

奥州市立
常盤小学校

読むべき箇所を焦点化



黄色のセロファンだと読みやすい。一行ずつ
だと読みやすい。子どもの様子に合わせて、
道具のデザインも変わります。

③

書く力
を
育てる
工夫



全校で
統一。

滝沢市立
滝沢第二小学校

指導の視点に即したレイアウト

問題
見
みとおし

課題
まとめ
適用問題
自力解決
ふりかえり

青線
赤線

1と0.1, 0.01, 0.001の
かんけいを考えよう。

1と0.1, 0.01, 0.001の
かんけいは、小数点が左に1つ
動くごとに10倍、右に1つ動く
ごとに10分の1になっている。

① 1 kmは0.1 kmの10倍。
② 1 mは0.1 mの10倍。
③ 0.1 kgは0.001 kgの100倍。
④ 0.1 kmは1 kmの10分の1倍。
⑤ 0.1 mは1 mの10分の1倍。
⑥ 0.1 kgは0.01 kgの100倍。

まとめに書いたように、左に
小数点が動くごとに10倍、右に
うごくごとに10分の1になっ
ていることが分かって、小数
点てすごいなと思いました。

1 P. 35
0.1...1の10
0.01...1の100
0.001...1の1000

★ 2
0.1...10倍
0.01...100倍
0.001...1000倍

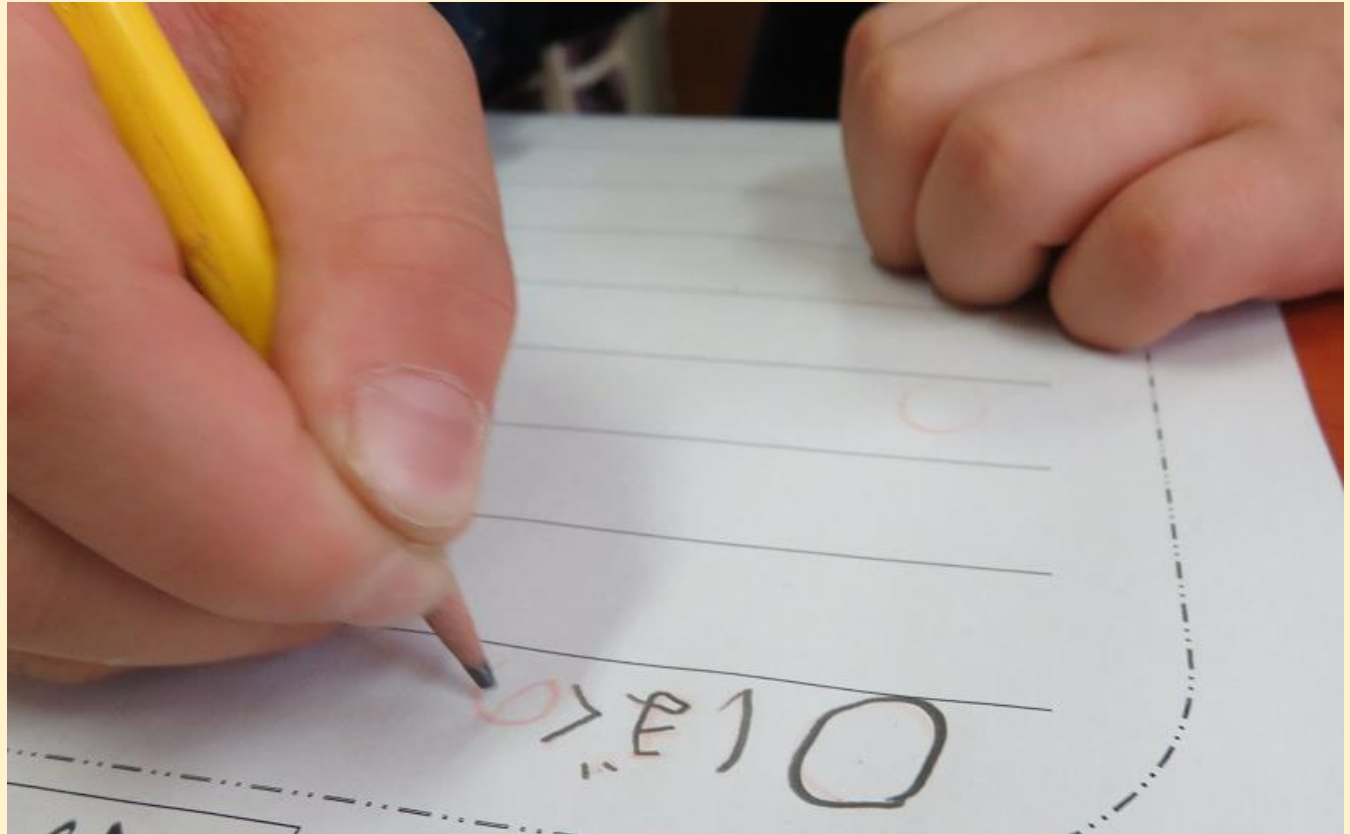
算数ノートの目標	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
日時、学習ページを書く	●	●	●	●	●	●
文字を整えて書く	●	●	●	●	●	●
ある程度の速さで書く		●	●	●	●	●
直線は定規を正しく使って引く。		●	●	●	●	●
課題とまとめを位置づける。			●	●	●	●
学習感想を書く。				●	●	●
自力解決のあとを残す。(筆算も書き残す)					●	●
全ての問題の答えが分かる。(書かれている)					●	●
間違った考え(自力解決)も残す。						●
見開き1ページに学習をまとめる。						●

ノートづくりは、学年ごとに
目標とする内容(●印)を
設定し指導します。

はじめ の 一筆。

奥州市立
常盤小学校

書くことを支える。書き出しが肝心。



なかなか書き出すことができない子どもには、書き出しを提示します。

薄く書き出しの文字を記し、そのなぞりからスタートします。

④

表現
する力
を
育てる
工夫



感情を 表現する 語彙が 必要

感情を表す言葉を例示。

日常的にも使える語彙に
したい。
児童が使った後をシール
で明示し、意欲を喚起し、
日常化を図る。



自分 に合った 表現方法 を 選んで

一関市立
萩荘小学校

説明するための表現方法
を選択。



考えを説明し合う活動では、自分の考えを伝えやすい方法(ノートか、おはじきか)を使って説明しました。
説明の方法の違いによって、一人ひとりの表現にも違いが見られ、分かりやすい表現をしようとする意欲も高まりました。

話し手 と 聞き手 への 注目

一関市立
萩荘小学校

マイクで、話し手・聞き手
の役割を意識。

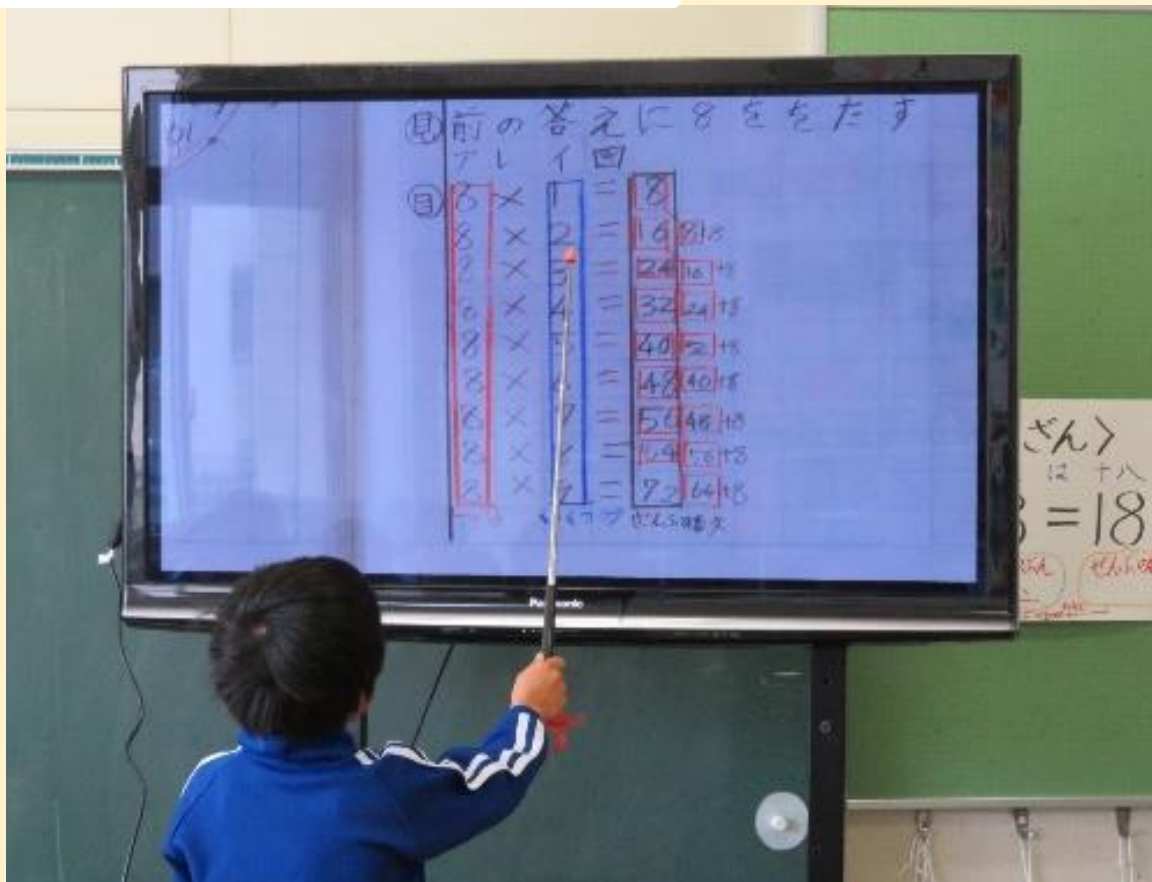


「自分にマイクを向けてほしいな」とよい姿勢で待つ子どもたち。
おもちゃのマイクでも、向けられるとちょっと緊張しながら、
アナウンサーのように話し出しました。
マイクを向けるだけで自然に聞き手を意識した話し方になるようです。

伝わる
その実感が、
プレゼン
を
双方向に
する。

奥州市立
常盤小学校

ICTの活用で、プレゼンのスキルが発揮されやすくなる。



実物投影機でノートを拡大表示し、それを使って発表する。